

# 着

# mono 通信

yoroduya

2026・4  
vol.91



よろづ屋  
着物・和のこと Salon

原町本店  
〒975-0003  
南相馬市原町区栄町2-83  
TEL: 0244-24-2929

いわき店  
〒970-8026  
いわき市平三倉69-8 第2地産ビル1F  
TEL: 0246-85-5298

みなさんこんにちは！春が来ました！4月です！新年度のスタートに慌ただしい日々をお送りの方も多数いらっしゃることでしょ。さて、2月にいわき店の模様替えを行い、商品ラインナップも増やしリユース着物の販売開始など、ちょっとしたリニューアルをしてみました。そして、今度は原町店もちょっぴり模様替えなどしてみようかと計画中。新しい商品展開やリユース着物の販売もスタートする予定であります。4月は原町本店では白生地のお染お誂え会なども併せて開催の予定です！いわき店では、単衣きものや春のお出かけ着などの特集を開催します。着物を通してみなさんへワクワクとドキドキをお届けするべく、今月も全力で走り回りまーす！！

## <リユース着物始めました！！>

いわき店のみで販売していたリユース着物を大好評につき、原町本店でも取り扱うことになりました！  
これから着物を始めてみたい、着付教室に通いたいなど、気軽に楽しめるリユース着物をこの機会にぜひ！



Q：リユース着物とは？

A：いわゆる古着です。

どなたかが購入して着用もしくは未使用など状態は様々ですが、一度人の手に渡り手放すことになってしまった着物たちです。



Q：サイズは表記されていますか？

A：サイズは1枚1枚測って表記してあります。

サイズは、身丈・衿・袖巾・肩巾・袖丈・前巾・後巾・裄下丈が表記されています。ご自分の寸法がわからない方などはスタッフにご相談ください。

Q：お着物の汚れや状態などは？

A：シミのある場所や、状態なども細かく明記してあります。

シミの場所やお着物の状態なども細かくチェックして明記してあります。状態は、A・B・C・Dのランクに分けてあります。また、状態やサイズによってもお値段に違いがあります。

Q：リユース着物の種類は？

A：訪問着・色無地・色留・小紋・紬・袋帯・名古屋帯が揃っております。

その時の仕入れの状況にもよりますが、一通りの種類は入荷しております。色や柄なども様々ですので、宝探しのようにご自分の「着てみたい！」を見つけてください。

Q：買取もしてくれますか？

A：申し訳ございません。現在買取は行っておりません。

当店のリユース着物は女将が定期的に東京へ仕入れに行き、オークションなどで買い付けています。お客様のお着物の査定・買取などは行っておりませんのでご了承ください。

# < お客様コーディネート紹介コーナー >

当店のInstagramやFacebookなどで紹介させていただいております、お客様のコーディネートをご紹介いたします！今回はちょっとしたパーティーのコーディネートをご紹介します！

総絞りの着物は実は大島紬。水墨画が描かれた名古屋帯でスッキリとシンプルに。着物と同系色の帯揚げ、帯に馴染む白の帯締めなど小物の使い方も素晴らしい。



タッサールシルクの光沢が美しい横段ぼかしの小紋に、桐生織のきびその八寸帯。帯と着物を同系色でまとめ、クッキリとした帯締で全体を締めています。



グレーの小紋に、切詰め名古屋帯。飛び柄の小紋は遊び心のある豆柄。着物と帯の色味をまとめて、帯揚げに明るいブルー、帯締の赤もグレーとの相性抜群です。



グリーンが無地の結城紬に杉村の袋帯。POPな杉村の帯に茶系の帯締めが引き立っています。グリーンと黄色のコントラストが最高のカジュアルコーデです。

## <きもの語 辞典>みの巻

着物に関して、わからない言葉や知りたい言葉などたくさんあると思います。専門用語が飛び交う中で？に思うことも多々ありますよね。そんな着物にまつわる言葉を集めて簡単にご紹介していくコーナーです。

**<身丈(みたけ)>** 着物の身頃の長さのこと。後ろ衿の中央の背縫い線の長さをいいます。当店では肩山からの長さで明記しています。

**<身幅(みはば)>** 着物の部分名称の一つで、身頃の幅のことをいいます。腰の一番太いところを測って寸法を出します。前側を「前幅」、後ろ側を「後ろ幅」といいます。

**<身八つ口(みやつぐち)>** 着物の部分名称の一つ。女物や子ども着物の脇の開きをいいます。男物には身八つ口はありません。

**<ミンサー織>** 沖縄の伝統的な絹織物。ミンサーとは細帯のことで、タテ糸の畝のある厚手の帯です。産地は読谷村、首里、八重山諸島があり、古くは嫁ぐ女性が夫への贈り物として織られていました。

## <きもの歳時記>

～知って楽しい和の知識～

### 進化し続ける絹織物～長襦袢～



またまた暑い夏が今年も近づいております。日本が誇れる着物文化も、地球温暖化の前では太刀打ちできないのか？いいえ、我々日本人の知恵と創意工夫を生かし、みなさんの着物生活を支えるために絹織物が進化しております。夏は洗える長襦袢が大変重宝いたします。しかし、ポリエステルなど、簡単に洗えるものは意外に暑いのです。やはり天然素材の絹や麻は涼しさが違います。麻は手軽に洗えるのと、コスパが良い点から大変人気の商品となっています。絹の風合いを好む方には、紋紗の長襦袢がおすすめです。近頃の紋紗の長襦袢はご自宅で洗えるのです。絹がここまで進化しました！暑い夏でも強い味方、洗える長襦袢を今年こそ早めのご準備を！



・・・女将のつぶやき・・・

呉服屋の女将以外にも、ピアノ講師、ピアノ伴奏、合唱指導、司会業など様々なところに出没している女将ですが、今回は「ゆめはっと」でのヘルメット姿を初披露でございます。かれこれ17年以上携わっております舞台サポーターというボランティア活動をしています。主に、ゆめはっとで演奏会や発表会などを開催する学校さんや活動団体さんの舞台の裏方のお仕事です。照明の仕込みや本番時のピンスポットフォローなど、体を動かし、重いものを運び、楽しく活動しています！！興味がある方、一緒に活動してみませんか～？

